

## 柏市訪問について 一姜 長姣

中国の承德市と日本の柏市が友好都市条約を締結してから30年も経ち、沢山の分野で友好交流と協力を深めてきました。その中で、私と本校の4名学生は運よく柏市を訪問することになりました。得るものが多く、大変意味のある訪問でした。



日本に来たのは初めてですが、柏市の皆さんの温かいおもてなしなど、この訪問は私にとって一生忘れがたい宝物になったと確信しています。特に国際交流センターの先輩達とお会い出来たことは、私にとってとても感動的で胸が熱くなる出来事でした。私達が柏市に着いたのは、既に夜の8時を過ぎた頃でしたが、国際交流センター及びホストファミリーの皆さんは、夕飯も食べず、歓迎用の横断幕や国旗を持って、ずっと私達の到着を待っててくださいました。バスから降りた瞬間、外国に来た感じはあまりなく、皆さんの温かいお迎えとおもてなしに、旅の疲れを一瞬で忘れ、まるで自分の家に戻ってきたかのようでした。交流センターの柱や壁などには沢山の歓迎メッセージの紙が貼られ、一つ一つは小さなメッセージですが、私達に大きな感動を与えてくださいました。中国の老子の「道德経」に「天下大事、必作于易；天下難事、必作于細（難しい事はそれがまだ簡単なうちによく考え、大きな問題はそれがまだ小さいうちに処理する）」という言葉があります。柏市国際交流センターの皆さんの仕事や物事に対する真剣さ、誠実さ、そして人道的なやり方やその精神に、私達は学ぶものが多かったのではないかと思います。

具体的にいうと、秋山市長と小泉議長の親しみやすさ、長岡さんの一生懸命さ、葛西さんのユーモラスさ、ホストファミリーの温かさ、心こめてのおもてなし、職員たちの仕事に対する真剣さとその努力及び都市の清潔感と環境のよさなど、すべては私の良い思い出となり、一生の宝物になったと確信しています。

私は柏市民との友情と温かさを承德に持ち帰り、承德の皆さんに伝えると同時に、柏市民のみなさんの親切さ、真剣さ、自己管理能力の高さなどの素晴らしいところをしっかりと学びたいと思います。

訪問団の子供たちも、今回の訪問に深い感動を覚えたようで、将来日本へ行きたい、日本留学したいという学生も増えています。彼達は承德市と柏市の友好交流の証人であり、今後の両市友好交流の使者でもあります。今回の訪問を通して、両市友好交流の重要性をより認識し、両市の友好交流を更に深めていくために頑張ってもらいたい、そして、承德市と柏市の友好交流が未永く続いてほしいと切に願っています